

## 行政報告の主な内容（5課8項目）

- (1) 総務課 ・十勝岳噴火総合防災訓練
- (2) 行政改革推進事務局
  - ・行財政改革の推進
- (3) 企画財政課 ・地域センター病院の改築
  - ・上富良野駐屯地の現状維持及び演習場整備拡充の要望
  - ・防衛施設周辺整備事業要望
- (4) 産業振興課 ・雪まつり
- (5) 社会教育課 ・成人式
- (6) 総務課 ・建設工事発注状況

# 行政報告

(平成17年3月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第1回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る12月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (総務課行政報告)

はじめに、2月21日から22日の2日間にわたって実施した十勝岳噴火総合防災訓練については、平成7年度から十勝岳火山防災会議協議会を構成する上富良野町と美瑛町の合同形式により今回で10回目の実践訓練となりました。本年も十勝岳噴火による大規模泥流の発生を災害想定として「初動体制構築訓練」、「情報伝達連絡訓練」、「避難訓練」、「救助・救出訓練」、「避難路確保・道路閉鎖・JR富良野線遮断」の5項目を柱に実施しました。

今回も昨年同様、十勝岳の火山活動状況に併せて、郡部地域の緊急危険区域には小規模泥流発生で避難指示を、市街地の緊急危険区域には大規模泥流で避難指示を発令し、火山活動を睨んだ段階的な避難指示を試みました。

昨年同様、避難指示後の訓練にも重点をおき、避難指示区域に避難していない者がいるという想定で、1軒1軒を回る未避難者の確認活動を自衛隊・警察・消防の協力により実施し、また、緊急危険区域内にある指定避難所からは、より安全である避難所への避難者輸送を自衛隊の協力により実施しました。

また、草分防災センターにおきまして、泥流により被害を受けた倒壊家屋を想定し、自衛隊、警察、消防の連携による被災者の救助救出訓練も実施しました。

今回で4回目になりますが、北海道上川支庁の主催により「十勝岳噴

火災害対策現地合同本部会議」が開催され、各関係機関による総合的な災害  
応急対策が検討されました。

ここに、参加された多くの住民の方々をはじめ各関係機関・団体の方々の  
協力に対しまして、改めて厚くお礼を申し上げます。

なお、この訓練におきまして災害対策本部内の関係機関との情報伝達の方  
法、要請事項などの課題については、その諸対策を確認できたと思いますが、  
今後の取り組まなければならない多くの課題も検証することができましたの  
で、日頃から、関係機関との連絡調整を図り、一層の連携強化に努めてまい  
ります。

#### （行政改革推進事務局行政報告）

行財政改革につきましては、平成 16 年 9 月に策定いたしました、行財政  
改革実施計画に基づき、実施項目の実践に取り組みを進めているところであ  
ります。

平成 17 年度予算に向けましては、平成 16 年度から取り入れました事業別  
予算により事務事業の評価検証を行い、予算の編成方針に反映させてまいり  
ました。

また、実施項目の中、システム化や方針等により改革を進めるものにつ  
きまして、主幹職を中心に課長職を除く全職員により 8 つのプロジェクトを立  
ち上げ、各種のシステムや方針等の策定に取り組んでおります。

具体の案が出来次第実践につなげてまいります。

今後ますます厳しさが予想される行財政環境にあつて、計画の着実な推進  
に、議員各位はじめ町民皆様の、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### （企画財政課行政報告）

次に、富良野協会病院の改築に関してですが、協会病院が地域センター病

院であるという認識のもと、沿線5市町村の負担について、平成16年2月の委員会から情報交換などを続けておりましたが、本年度に入りましてから、具体的な「地域センター病院改築に伴う基本構想」についての協議を重ねてまいりました。

自治体病院を持ちます上富良野町といたしましては、地域センター病院がどのように町立病院と連携・協力していくのかが建築費に対する負担を考慮するための重要な点であり、医師の派遣や連携について、基本構想に位置付けるべく強く訴えてきたところであります。

このようなやりとりの中で、本町では平成16年度から病病連携がとられていること、救急業務に関し救急救命士としての人材育成支援や、乳幼児などの検診業務の支援を受けている実態に加え、将来に向けて医師の派遣や研修への協力を確認できたこと、また、第1次医療機関としての自治体病院を持たない富良野市がその主体性をもって多くの負担を担う考え方を示されたことなどから、2月13日に行われました富良野地区広域市町村圏振興協議会委員会において、5市町村で負担することで合意したところであります。

その負担につきましては、沿線自治体支援総額の8億円のうち、8割を地元富良野市が負担し、残りの2割を富良野市を含む5市町村で、患者数に応じ負担するよう合意し、本町の負担割合は、12.93パーセントの2千68万8千円となるところであります。

これを受けまして、2月17日に、富良野地区広域市町村圏振興協議会・富良野市・富良野医師会・社会福祉法人北海道社会事業協会の4者で基本構想についての確認書を取り交わしたところであります。

次に、自衛隊関係ではありますが、1月17日から28日にかけて、6市町村長同行のもと上富良野駐屯司令、旭川第二師団長、陸上幕僚長、金田財務金融委員長、今津防衛庁副長官に対して上富良野駐屯地の現状維持及び演習場

整備拡充の要望を行いました。

引き続き、地元駐屯地が存続し国土防衛の中心的な役割を果しえるよう働きかけて参ります。

次に、北海道における自衛隊削減問題が、これからも予断を許さないものとなっていることから2月8日には、本町を含む道内50市町村の参加により「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」を発足させたところであります。

次に、平成17年度防衛施設周辺整備事業の要望関係であります。2月2日から3日にかけて、実施計画ヒヤリングが防衛施設庁で行われ上富良野基地協議会構成の関係団体長同行のもと要望運動をおこなってまいりました。

#### （産業振興課行政報告）

観光関係では、2月6日、四季彩イベントの最後を飾る第41回かみふらの雪まつりを日の出公園を会場に開催したところ、当日は好天に恵まれ約2,600人の参加をいただきました。

会場には、上富良野駐屯地第2戦車連隊製作による大雪像1基、商工会青年部の皆様による滑り台製作、イベントでは、町民参加によるファミリー雪像コンテスト、親子で人間ボーリング、スノーモービル体験、激走ボブスレー大会、お楽しみ抽選券の入ったもちまき大会、豚サガリ絶叫大会などに多くの町民の皆さまに参加をいただきました。

雪像制作期間中、ご支援をいただきました自衛隊、建設業協会、女性連絡協議会、自衛隊協力女性部をはじめ各関係機関の皆さまに厚く感謝とお礼を申し上げます。

#### （社会教育課行政報告）

次に、成人式についてであります。本年は1月10日が成人の日でありましたが、本町では新成人の皆さんが出席しやすいように考慮しまして、前

日の1月9日の日曜日に保健福祉総合センター「かみん」において、町議会議員をはじめ来賓各位のご臨席をいただきまして成人式を挙行いたしました。

新成人111名の出席のもと厳粛なうちに式典が行われ、門出を祝福したところであります。

( 総務課行政報告 )

最後に、建設工事の発注状況であります。12月定例議会において報告した以降入札執行した建設工事は、3月1日現在、10件、事業費4億4,769万9千円で、平成16年度の累計では、47件、事業費総額10億1,848万4,250円となっております。「平成16年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

なお、3月7日に入札執行を行いますので、「平成16年度建設工事総括表」は、後日、配付しますので、ご了承を願います。

以上をもちまして、行政報告といたします。